

第8回 北大阪急行線延伸技術検討会 議事要旨

1. 日 時

令和5年1月31日（火）午後3時20分～午後5時15分

2. 場 所

箕面市役所 本館3階 委員会室

3. 出席者

（座 長）

一般財団法人 災害科学研究所 理事長 大阪大学 名誉教授 松井 保

（構成員）

京都大学大学院 工学研究科 教授 木村 亮

（Zoom 出席）

京都大学 防災研究所 教授 澤田 純男

（Zoom 出席）

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北陸新幹線建設局 副局長 長谷川 正明

株式会社大阪メトロサービス 監査役 塩谷 智弘

（オブザーバー）

大阪府 都市整備部 交通戦略室 鉄道推進課長 鬼追 弘臣

大阪府 池田土木事務所長 難波 孝行

箕面市 地域創造部 担当部長 浜田 桂一郎

阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 交通プロジェクト推進部長 奥野 雅弘

北大阪急行電鉄株式会社 常務取締役延伸事業部長 岩元 仁

（欠席）

一般財団法人 地域地盤環境研究所 特別顧問 竹村 恵二

以上、構成員6名うち1名欠席、オブザーバー5名全員出席

4. 議 事

(1) 報告事項：シールドトンネル掘進状況について

- 新千里北換気所～千里中央北端部の掘進については、大阪層群における既存の施工結果を踏まえて設定した切羽圧力と裏込め注入圧力などの掘削管理基準値をもとに、土被りの変化に応じてそれらの管理値を調整し、トライアル計測や建築物のリアルタイム計測、路面測定によって周辺地盤や近接する建築物の挙動を詳細に把握しつつ施工していた。また、中間充填材を積極的に活用し、早期に強度発現する裏込め注入材を使用することにより、掘進停止期間を含めたシールド通過時沈下、テールボイド沈下の抑制を行い、周辺地盤の影響を最小限に抑制していた。これらの結果、千里中央北端部到達一定期間の後、その変位量は収束しており、シールド掘進に伴う近接建築物には想定以上の変位を与えていないことを確認した。

(2) 報告事項：開削トンネル区間・高架橋区間の進捗状況について

- 第3回～第5回の北大阪急行線延伸技術検討会の議題（開削トンネル区間・高架橋区間における構造計画と高架橋区間における支持杭形式）に対して、施工報告がなされ、異議なく了承された。

以上